

## 第 22 計 ; 中国人は何故知らないことでも知っているというのか？

—知らないことを知らないと言う人は勇気が有り賢い人です—

私はこれも中国人の“面子主義”の側面があると思います。中国人の立場としては、「能力がない」と判断されては、損であるからであります。「どうせ、後でインターネットを使って調べるから、知っていることになるでしょう」と言いたいのが中国人の言い分であることは、十分に予想できます。私は“29 計”で後述する“兵法 36 計”をマスターした努力家の正直爺さんです。後で調べるというのは、現在知らないことであるほど明白な嘘の“知らない事実”はないからであります。

学生時代であればそれは、許されますが、社会人としては・・・とりわけ、日本人は非常に困ります。日本人は知っていることでも知らないという人が“謙虚な人”で、知っていることを知っているという人は“一般の人”で、知らないことを知らないと言える人は“尊敬される人物”であります。武士道精神をもった勇気のある人であるから尊敬されるのです。日本人で知らない事を知らないという人は“優秀な人”が多いし、実力もあり本もよく読んでいる人だと信じています。

「知らないことを知っていると言えば」日本人はその人に諭（さ

と) しょうがなくなり、諭す人が逆にストレスを感じます。日本人はそういう中国人を放置するでしょう。勝手にしてください。“もう付き合いたくない”の状態であります。何故日本人が放置するかというと、日本の諺に“うそつきは泥棒のはじまり”があるからであります。そういう人は必ず将来トラブルを起こすと思われます。私も含めて多くの日本人は、将来のトラブルと付き合いたくないのであります。

もっとも日本人でも言い訳をする人がいます。俯瞰的視点で既に答えが分かっている私に対してでも・・・。例えばここにサイコロがあったとする。サイコロは人である。私はサイコロと対話している。一見サイコロである。しかしサイコロ風に見える人は、「私はサイコロ」と言う。しかしサイコロの1の反対が5であった場合どうするか。私の思考(の違い)をどんなに諭しても解からない人がいます。サイコロには白色もあれば、象牙もあれば、隅がかけたサイコロもあります。1の反対は6である。サイコロの2の反対は5であります。

唯我独善(ゆいがどくぜん)的な人は中小企業の社長に多く見られます。そんな社長は、社員をも困らせています。また、そういう社長は結果的に社員から放置・追放される傾向があります。私の関

与先企業にも一例存在しました。その社長は私が読書を進めても読  
書をしないので、私が何冊本を買ってきて与えても“ありがとう”  
言いませんでした。彼の奥さんが「あなた過信でしょう！」と言っ  
ても、微笑するだけです。なにか日本の現政権に似ているような気  
がします。2010/10/23 2010/11/13